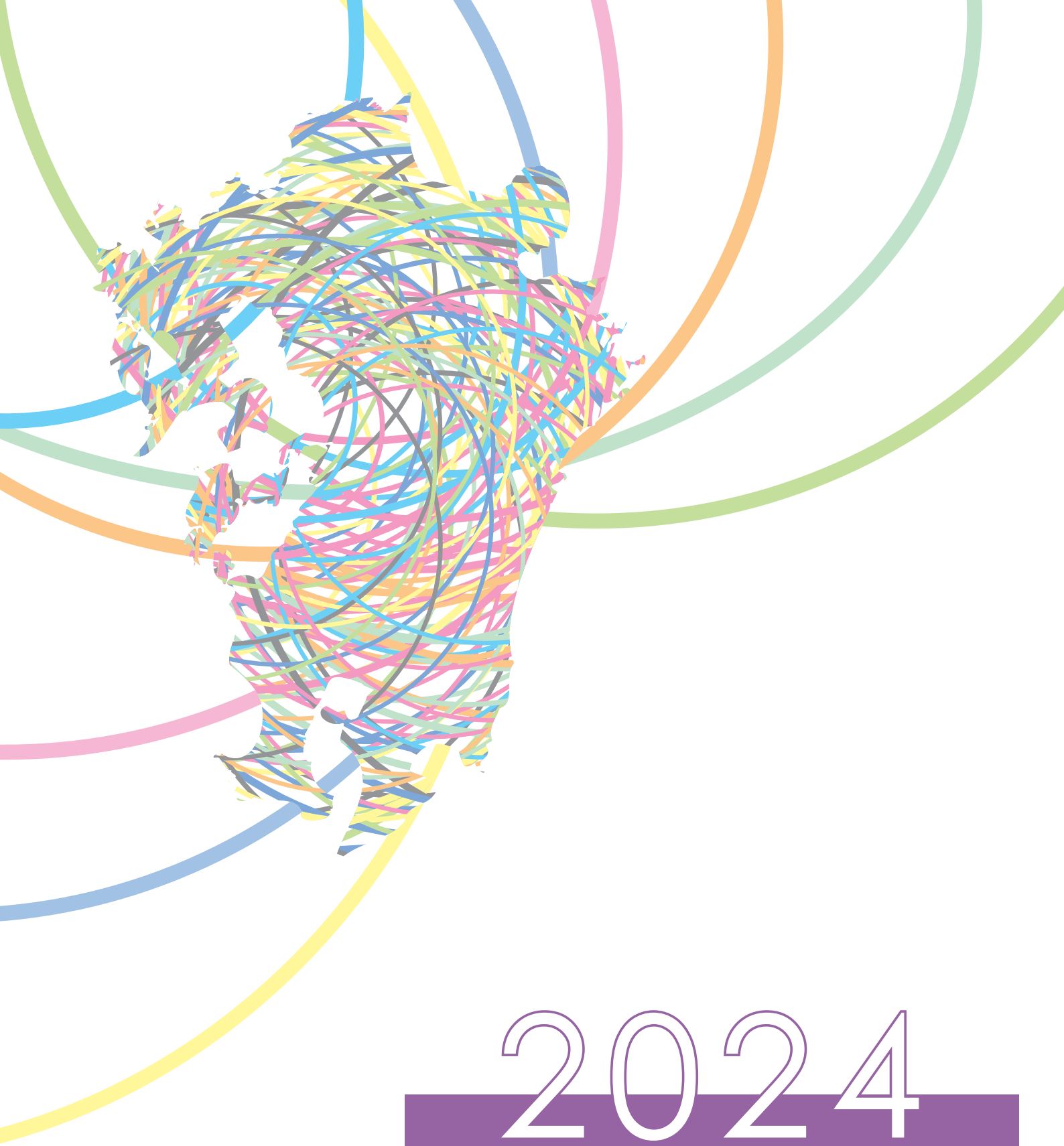




2024 事業概要



国土交通省 九州地方整備局

管内関係位置図

港湾・空港・道路関係位置図



道路の管理延長(道路種類別)

道路区分	全 国 実延長 (km)	九 州 実延長 (km)	福岡県 実延長 (km)	佐賀県 実延長 (km)	長崎県 実延長 (km)	熊本県 実延長 (km)	大分県 実延長 (km)	宮崎県 実延長 (km)	鹿兒島県 実延長 (km)	北九州市 実延長 (km)	福岡市 実延長 (km)	熊本市 実延長 (km)
高速自動車国道	9,100	991	153	78	46	123	191	202	123	149	2	24
国道	指定区間	24,083	2,409	405	239	217	264	350	307	444	40	78
	指定区間外	32,027	5,220	523	389	773	893	716	869	856	130	34
県道	指定区間	57,888	7,757	1,402	546	825	1,055	987	968	1,621	153	92
	指定区間外	71,939	9,745	1,617	713	837	1,587	1,544	1,049	1,935	98	149
市町村道	1,034,201	133,594	25,541	9,085	15,381	18,472	14,863	16,833	22,496	3,882	3,627	3,413
合 計	1,229,239	159,715	29,641	11,050	18,080	22,393	18,650	20,229	27,474	4,351	3,982	3,864

※延長は、2022 年版道路統計年報による

※指定区間外：一般国道のうち、都道府県及び政令市が担当する区間

河川関係位置図

九州地方における県別所管概要 (延長:km)

県 名	一 級 河 川			
	関係水系数	河 川 延 長		
		指定区間外	指定区間	合 計
福岡県	3	263.5	1,039.3	1,302.8
佐賀県	3	220.1	856.3	1,076.4
長崎県	1	21.9	114.4	136.3
熊本県	4	297.9	1,436.6	1,734.5
大分県	4	196.5	1,880.3	2,076.8
宮崎県	3	145.0	1,363.9	1,508.5
鹿児島県	2	165.0	713.1	878.1
合 計	20水系	1309.9	7,403.5	8,713.4

出典：令和4年度河川管理統計（国土交通省水管理・国土保全局水政課）

凡 例		
ダ ム (直轄)	完 成	
	建設中	
	実施計画調査	
	調整事業	
ダム(水機構)	完 成	
堰(直 轄)	完 成	
堰(水機構)	完 成	
導水路	完 成	
直轄砂防事業区域	建設中	
直轄海岸事業区域		

県 名	二 級 河 川			
	水系数	河 川 数	河川延長 (km)	流域面積 (km ²)
福岡県	52	149	876.0	1,833
佐賀県	60	174	509.3	715
長崎県	210	341	1,026.1	2,225
熊本県	81	148	627.0	1,535
大分県	93	211	988.7	1,902
宮崎県	53	239	1,285.1	3,616
鹿児島県	160	310	1,780.4	4,682
合 計	709	1,572	7,092.6	16,508

出典：令和4年度河川管理統計（国土交通省水管理・国土保全局水政課）

県 名	砂防指定地			県 名	海岸保全区域 ^(水理系) (国土保全部)			海岸保全区域 ^(港湾局)		
	直轄(国)	直轄面積 (ha)	補助面積 (ha)		全延長 (km)	直轄(国)	直轄延長 (km)	全延長 (km)	直轄(国)	直轄延長 (km)
福岡県	筑後川 (赤谷川)	82.03	4,172.43	山口県				340.48	下関港海岸	12.02
佐賀県			1,784.93	福岡県	73.89			89.74		
長崎県	雲仙	351.42	3,819.00	佐賀県	15.11			52.13		
熊本県	球磨川	853.41	11,952.59	長崎県	327.16			380.69		
	阿蘇山	79.21		熊本県	127.48			161.31		
大分県			9,398.34	大分県	55.11			115.26	大分港海岸	21.37
宮崎県	大淀川	163.39	5,426.08	宮崎県	29.25	宮崎海岸	6.86	30.77		
鹿児島県	桜島	1,002.32	8,660.51	鹿児島県	191.98			206.60	指宿港海岸	1.80
合 計		2,531.78	45,213.88	合 計	819.98		6.86	1,376.98		35.19

出典：砂防指定地：直轄 砂防指定地面積調査(令和6年1月末時点)
補助 砂防便覧令和4年度版

※指定区間外：国が管理する区間

※ 地方公共団体が管理する区間

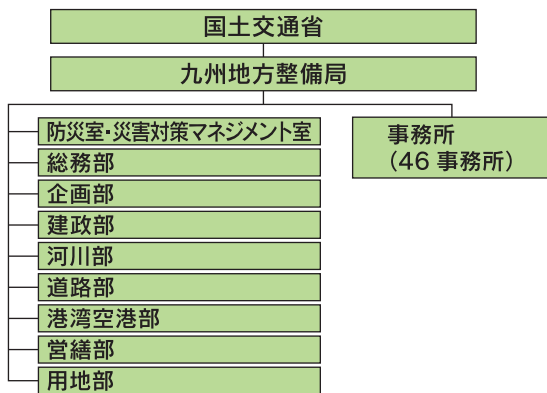
九州地方整備局管内の港湾・空港および開発保全航路一覧

令和4年4月1日現在

種 別	港 湾				空 港			開 発 保 全 航 路
県名(市名)	国際拠点港湾	重要港湾	地方港湾	56条港湾	拠点空港	地方管理空港	その他空港	
下関市	下関							関門航路
福岡県	北九州・博多	苅田・三池	5		北九州・福岡			
佐賀県		唐津・伊万里	7			佐賀		平戸瀬戸航路・蟬蛾ノ瀬戸航路・万関瀬戸航路
長崎県		長崎・佐世保・厳原 福江・郷ノ浦	77	22	長崎	対馬・上五島		
熊本県		八代・熊本・三角	23		熊本		天草	本渡瀬戸航路
大分県		別府・大分・津久見 佐伯・中津	13	2	大分		大分県央	
宮崎県		宮崎・細島・油津	12	1	宮崎			
鹿児島県		鹿児島・志布志 川内・西之表・名瀬	126		鹿児島	種子島・屋久島・奄美 沖永良部・喜界・徳之島 与論		
管内計	3	25	263	25	7	13	2	5

組織のご案内

● 組織図



● 組織数

本局	
部	8
課・室	50
事務所	46
河川・道路関係事務所	9
河川関係事務所	13
道路関係事務所	6
港湾空港関係事務所	14
営繕関係事務所	2
公園関係事務所	1
技術事務所	1

● 局・事務所位置図

★ 国土交通省 九州地方整備局

河川・道路関係事務所(9箇所)

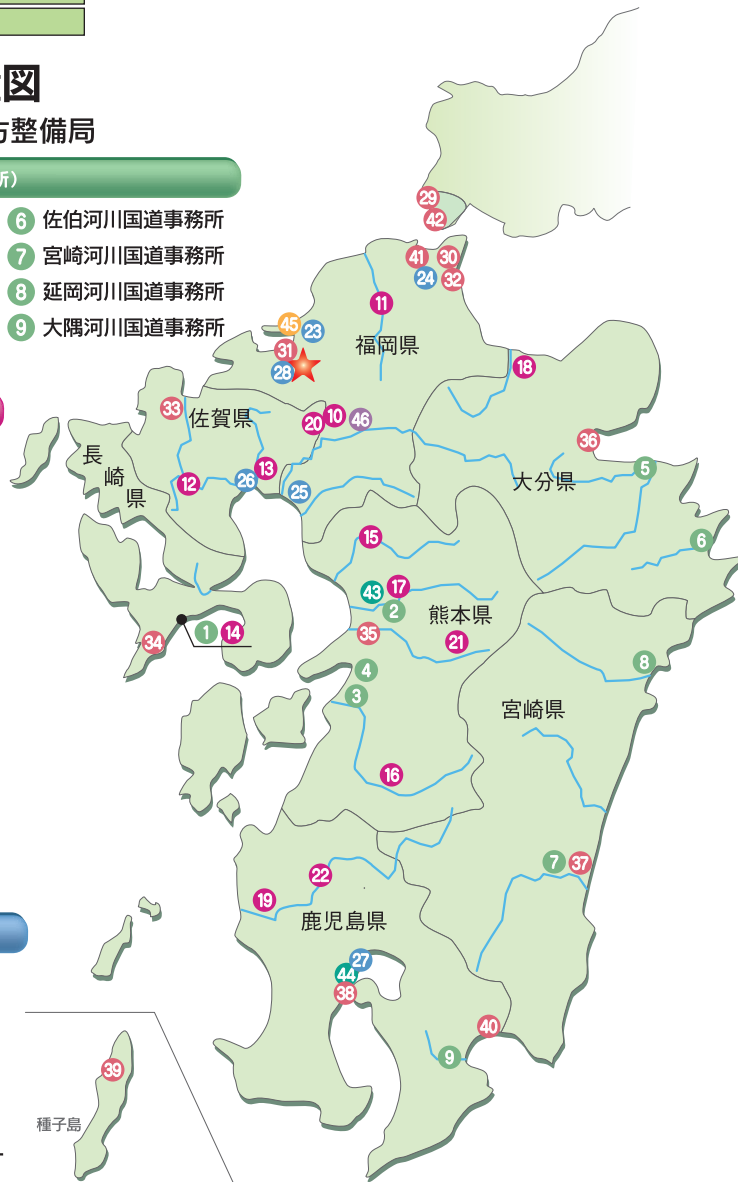
- 1 長崎河川国道事務所
- 2 熊本河川国道事務所
- 3 八代河川国道事務所
- 4 八代復興事務所
- 5 大分河川国道事務所
- 6 佐伯河川国道事務所
- 7 宮崎河川国道事務所
- 8 延岡河川国道事務所
- 9 大隅河川国道事務所

河川関係事務所(13箇所)

- 10 筑後川河川事務所
- 11 遠賀川河川事務所
- 12 武雄河川事務所
- 13 佐賀河川事務所
- 14 本明川ダム工事事務所
- 15 菊池川河川事務所
- 16 川辺川ダム砂防事務所
- 17 阿蘇砂防事務所
- 18 山国川河川事務所
- 19 川内川河川事務所
- 20 筑後川ダム統合管理事務所
- 21 緑川ダム管理所
- 22 鶴田ダム管理所

道路関係事務所(6箇所)

- 23 福岡国道事務所
- 24 北九州国道事務所
- 25 有明海沿岸国道事務所
- 26 佐賀国道事務所
- 27 鹿児島国道事務所
- 28 九州道路メンテナンスセンター



港湾空港関係事務所(14箇所)

- 29 下関港湾事務所
- 30 北九州港湾・空港整備事務所
- 31 博多港湾・空港整備事務所
- 32 苅田港湾事務所
- 33 唐津港湾事務所
- 34 長崎港湾・空港整備事務所
- 35 熊本港湾・空港整備事務所
- 36 別府港湾・空港整備事務所
- 37 宮崎港湾・空港整備事務所
- 38 鹿児島港湾・空港整備事務所
- 39 西之表港湾事務所
- 40 志布志港湾事務所
- 41 関門航路事務所
- 42 下関港湾空港技術調査事務所

営繕関係事務所(2箇所)

- 43 熊本営繕事務所
- 44 鹿児島営繕事務所

公園関係事務所(1箇所)

- 45 国営海の中道海浜公園事務所

技術事務所(1箇所)

- 46 九州技術事務所

国土交通省九州地方整備局

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号 福岡第二合同庁舎 TEL.092(471)6331(代)

ホームページ <https://www.qsr.mlit.go.jp/> Eメール qsr-kikaku@ki.milt.go.jp

みなさまの声を聞かせてください。九州地方整備局ホームページ「お問い合わせ」で受け付けています。



九州地方整備局
X(旧 Twitter)



九州地方整備局
X(旧 Twitter)
採用情報



九州地方整備局
YouTube



九州地方整備局
Instagram



河川事業

流域治水の本格的実践

流域治水の推進

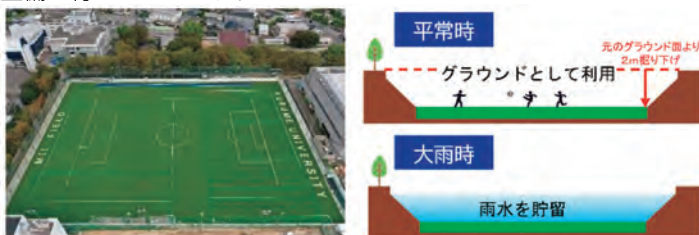
気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域※¹から氾濫域※²にわたる流域の国・県・市町村・企業・住民等のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」を推進しています。

※1 集水域：雨水が河川に流入するエリア

※2 氾濫域：河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア

雨水貯留施設の整備

福岡県久留米市により、大学のグラウンドを活用した雨水貯留施設の整備が行われています。



久留米大学グラウンドでの雨水貯留施設（筑後川水系）

流域治水の自分事化

流域住民に対して各家庭でできる流域治水の紹介や水災害時の避難行動計画（マイ・タイムライン）の作成支援といった流域治水への理解を深める取組を河川協力団体等と連携して行っています。



豪雨災害を減らすシンポジウムの様子
（大淀川水系）

小学生によるマイ・タイムラインづくりの様子
（番匠川水系）

流域治水の基本的な考え方



水害リスクが高い地域からの移転

移転先確保のための災害公営住宅や新たな宅地等の整備と連携して河川整備（引堤・遊水地）を実施しています。



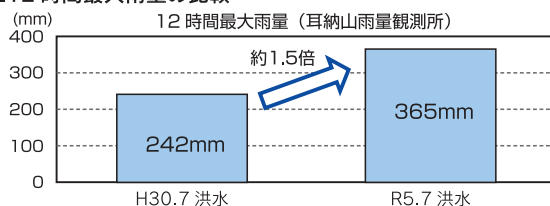
河川整備と連携した水害リスクが高い地域からの移転（球磨川水系）

国・県・市 連携した流域治水の取組による事業の整備効果

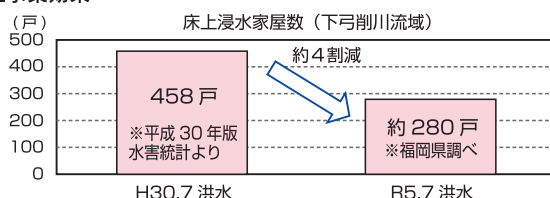


筑後川水系下弓削川流域では、平成30年7月洪水により生じた浸水被害の軽減を目的に、国による枝光排水機場のポンプ増設（既設15m³/s+増設11m³/s）、県・市による下弓削川の護岸かさ上げなどの河川改修を実施しており、令和5年7月豪雨では、効果発現により浸水被害を軽減しました。

■12時間最大雨量の比較



■事業効果



防災・減災・国土強靱化の強力な推進

近年の気候変動の影響により激甚化・頻発化する水災害や切迫する地震災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、九州地方整備局では「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めます。

水害の頻発・激甚化に対応する治水対策の推進

安全・安心を確保し、社会経済の活力を維持・増進していくため、激甚な水害が発生した地域において、集中的に防災・減災対策を実施します。また、想定される被害状況を踏まえ、治水安全度の抜本的な向上を早期に図るため、事前防災対策などの治水対策も重点的に実施します。



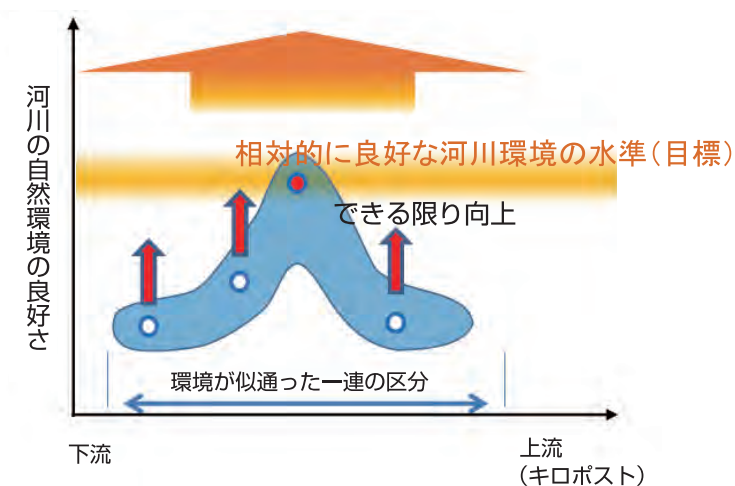
総合的な土砂災害対策の推進

集中豪雨の増加や火山噴火等により激甚化・頻発化する土砂災害に対して、ハード・ソフト一体となった総合的な対策を実施します。



河川環境の保全・創出

河川の工事を実施する場合には、工事を実施する場所の現状の河川環境の評価を行い、生物の生息・生育・繁殖環境として良好な場所を目標に河川環境の底上げをおこないます。（良好な環境は保全を行い、課題のある場合は新たに環境を創出する）



河川環境の改善の考え方のイメージ



公園・営繕

公園事業

地域活性化に寄与する「国営公園」の整備・管理

九州には「海の中道海浜公園」（福岡県福岡市）と「国営吉野ヶ里歴史公園」（佐賀県神埼市・吉野ヶ里町）の2つの国営公園があります。海の中道海浜公園では豊かな自然環境を活かした広域レクリエーション拠点として、国営吉野ヶ里歴史公園では優れた文化的資産を活かした歴史・文化の体験・発信拠点として、地域活性化に寄与する整備・管理運営を推進します。

海の中道海浜公園



広大なネモフィラ畑など
花いっぱいの公園



公募設置管理 (Park-PFI) 制度を活用し、官民連携で宿泊施設や遊戯施設等を整備・管理運営 イベントの開催地として活用

国営吉野ヶ里歴史公園



特別史跡「吉野ヶ里遺跡」において、弥生時代の『クニ』の中心集落を実物大で復元整備



歴史体験・学習の場として活用



イベントの開催地として活用

営繕事業

まちづくりと調和した「官庁施設」づくり

国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たします。

◆鹿児島第三地方合同庁舎(鹿児島県鹿児島市)

「歴史と文化の道」に面する庁舎(令和5年度完成)



まちづくりと調和するための取り組み
(外装デザインの工夫、御楼門展望広場の改修、開放感のある屋外歩廊の設置など)



障害のある方々から、案内板や多機能トイレ等に対する意見を頂くためユニバーサルデザイン(UD)レビューを開催

◆名瀬第二地方合同庁舎(鹿児島県奄美市)

港のまちづくりと調和した庁舎(令和6年度完成予定)



デジタル技術を活用した配筋検査
(デジタル配筋検査、デジタルガス圧継手外観検査)



DX関係

DXや働き方改革の推進

インフラ分野のDX推進

データとデジタル技術を活用し、建設業や職員の働き方を変革することで、安全・安心で豊かな生活を実現するためDXの推進に取り組んでいます。

【災害対応のDX】

360°映像や三次元（点群）データ等を用いて、安全かつ正確に災害現場を把握し、早期復旧を目指します。



360°映像



三次元（点群）データ

【SVT（スカイバーチャルツアー）】

UAV（ドローン）で撮影した上空からの360°映像を組み合わせ、上空の様々な視点から現地を確認できます。



SVT画像



令和6年能登半島地震被害状況ポータルサイト

【メタバース（仮想世界）を用いた合意形成】

インフラ整備後の内容をリアルな3Dモデルで作成し、VRによる仮想世界で関係者への事業説明に役立てています。



VRを活用した地元説明会

※DX（デジタル・トランスフォーメーション）：進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること



インフラ分野における九州地方整備局のDXの様々な取組を紹介しています。

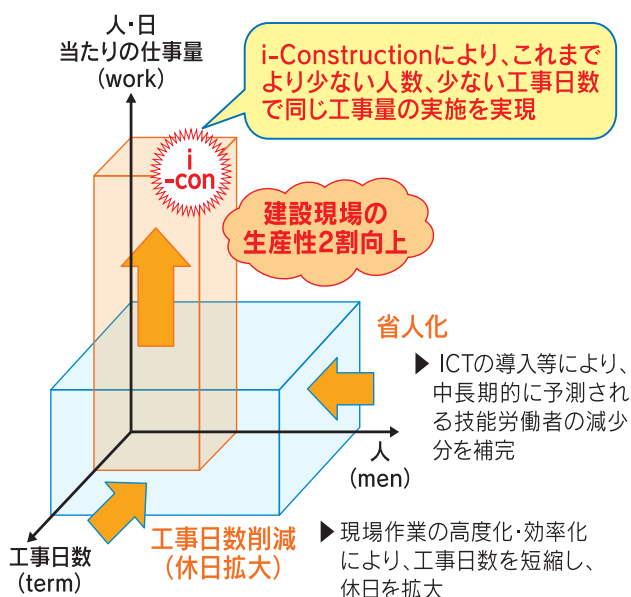


九州インフラDX推進室 HP

i-Constructionの推進

今後、懸念される若手労働者の減少による担い手不足などに対応するため、最新のICT（情報通信技術）を活用した3次元モデルを導入し、計画・調査・設計・施工・維持管理の各段階で情報を充実させながら関係者間で共有する「BIM/CIM」を活用することで建設生産システム全体の向上を目指す「i-Construction」を推進しています。

【生産性向上のイメージ】

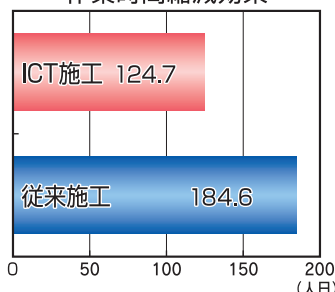


【ICT土工】

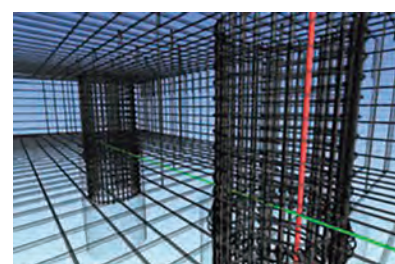


・丁張り不要

【ICT土工活用工事の効果】 作業時間縮減効果



3次元データを重機に読み込み、確認しながら目印（丁張り）無しで効率的に工事を行います



【BIM/CIM活用事例】
杭頭部の鉄筋干渉照査

道路事業

社会資本整備の戦略的かつ計画的な推進

新広域道路交通ビジョン・計画

九州の将来像実現に向けた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「新広域道路交通ビジョン・計画」を策定（R3.7）しました。「クロス」を中心とする骨組みを軸に、いくつもの「リング」を形成してネットワークの密度を高めることにより、九州全域に高速道路サービスをゆきわたらせるとともに、災害に対するネットワークの強靱化を図ります。

『クロス』から『リング』へ 九州リングネットワーク

■『クロス』九州の南北・東西軸をつなぐネットワーク

■『リング』クロスを中心に、リングで新たに連携するネットワーク

アジアの成長力を引き込む

アジア地域

国内各圏域との交流・連携の強化

南海トラフ地震発生時に震度(最大値)6強以上が想定される市町村

空港 (2019年乗客数)	● : 連携中枢都市
● : 1,000万人以上	● : 定住自立圏構想都市
● : 1,000万人未満	● : 半島振興地域
港 (2018年コンテナ取扱量)	● : 観光圏
● : 70万TEU以上	● : 世界自然遺産
● : 70万TEU未満	● : 世界文化遺産
港湾 (2019年クルーズ船寄港回数)	● : ユネスコ世界ジオパーク
● : 100回以上	● : 主な温泉地
● : 100回未満	

広域道路ネットワーク形成の推進

九州の道路ネットワーク整備を推進し、交通渋滞の緩和等による迅速・円滑で競争力の高い物流ネットワークの実現を図ります。また、シームレスな拠点連結型国土の形成を図るとともに、デジタル実装した社会を支え、人流・物流の円滑化・活性化を図るため、地域・拠点をつなぐ広域道路ネットワークの整備を推進します。

【令和6年度新規事業箇所】

- 東九州自動車道
南郷奈留道路 延長：13.3km
- 中九州横断道路
大津道路 延長：4.8km

【主な事業中の高規格道路】

- 九州中央自動車道
 - 東九州自動車道
 - 南九州西回り自動車道
 - 西九州自動車道
 - 黒崎道路
 - 鹿児島東西幹線道路
 - 都城志布志道路
 - 中九州横断道路
 - 熊本天草幹線道路
 - 島原道路
 - 佐賀唐津道路
 - 有明海沿岸道路
 - 中津日田道路
- 総延長：約230km



国土交通省が今後目指す高規格道路ネットワークのあり方として、「2050年、世界一、賢く・安全で・接続可能な基盤ネットワークシステム」、通称「ワイズネット」を掲げております。

詳しくはコチラから→



防災・減災、国土強靱化の強力な推進(道路)

交通の安全安心確保

通学児童や歩行者等の安全・安心な歩道空間を確保するため、通学路対策等を推進します。

ゾーン30プラスとは

- ・物理的デバイス(ハンプ・狭さく等)と最高速度30km/hの区域。
- ・規制との組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域。



※スムーズ横断歩道

- ・車道方向にハンプ構造を設置し、自動車の走行速度を低減。
- ・歩道と横断歩道の段差を解消し、通行をスムーズに。

インフラの老朽化対策

急速に進む施設の老朽化に対応するべく、老朽化対策を推進します。対策にあたっては定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要です。

トンネル定期点検



九州道路メンテナンスセンター
による自治体への技術助言状況



効率化、省力化のため
DXを活用



点検ドローン

操作者

無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観形成、観光振興の観点から、令和3年5月に策定した無電柱化推進計画に基づき、無電柱化を推進します。

国道208号 福岡県大牟田市(船津地区)



▲整備前



▲整備後イメージ

●「無電柱化推進計画」の基本的な方針

- ・新設電柱を増やさない
(特に緊急輸送道路の電柱を減少)
- ・徹底したコスト縮減
(平均して約2割のコスト縮減)
- ・事業のスピードアップ
(事業期間半減(約7年→4年)を目標)

魅力ある地域づくり

「道の駅」の第3ステージの取り組みの推進

「道の駅」の第3ステージとして、防災機能強化、地域センター化等に向けた取り組みを推進します。

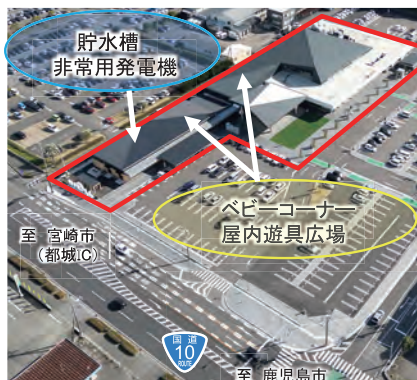
防災拠点化

防災機能強化

防災施設(貯水槽)



防災施設(非常用発電機)



道の駅「都城NiQLL」(宮崎県都城市)
令和5年4月のリニューアルに併せて、防災施設や
子育て支援設備を整備しました。

地域センター化

子育て支援設備(授乳室)



子育て支援設備(屋内遊具)



能登半島地震の被災地へ派遣

- ・防災道の駅「うきは」より、被災地へ
防災用コンテナ型トイレを派遣しました。

設置作業の状況



防災用コンテナ型トイレ外観



港湾空港事業

持続的な経済成長の実現

港湾の機能強化・航空ネットワークの充実

我が国の産業や国民生活に不可欠な貨物や資源を輸送する船舶の大型化に対応し、国際コンテナ定期航路網の充実に対応するため、港湾施設整備による港湾の機能強化を推進します。

コンテナターミナルの利用状況(博多港)



バイオマス発電燃料(木質ペレット)の荷役状況(刈田港)

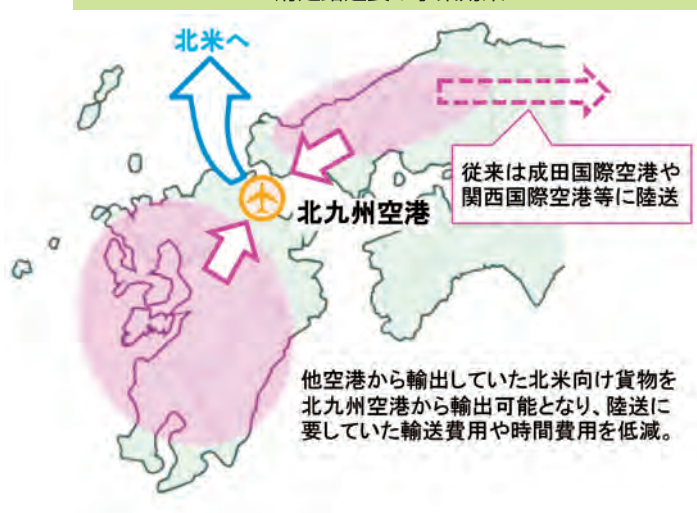


航空需要の回復及び増加を見据えた航空ネットワークの充実に対応するため、空港施設整備による空港の機能強化を推進します。

北九州空港の滑走路延長



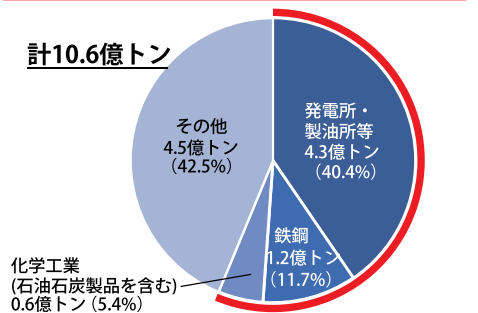
滑走路延長の事業効果



カーボンニュートラルポート (CNP) 形成の推進

港湾の競争力強化と脱炭素社会の実現に貢献するため、水素・アンモニア等の受入環境の整備や、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化を図るべく、荷役機械の電動化等の取組による CNP の形成を推進します。

CO2排出量の約6割を占める産業の多くは、港湾・臨海部に立地



我が国のCO2排出量(電気・熱配分前)
(2021年度確報値、2023.04.21公表)

出典: 国立環境研究所HP資料より、港湾局作成

多くの企業が集積する港湾・臨海部(大分港)



博多港の荷役機械(RTG)電動化



※RTG: Rubber Tired Gantry craneの略(タイヤ式門型クレーン)

国民の安全・安心の確保

耐震強化岸壁の整備

南海トラフ地震等大規模地震の発生が危惧される中、海上からの人命救助や緊急物資輸送を支えるため、海上交通ネットワーク維持に向けた耐震強化岸壁の整備を推進します。

耐震強化岸壁の整備(名瀬港)



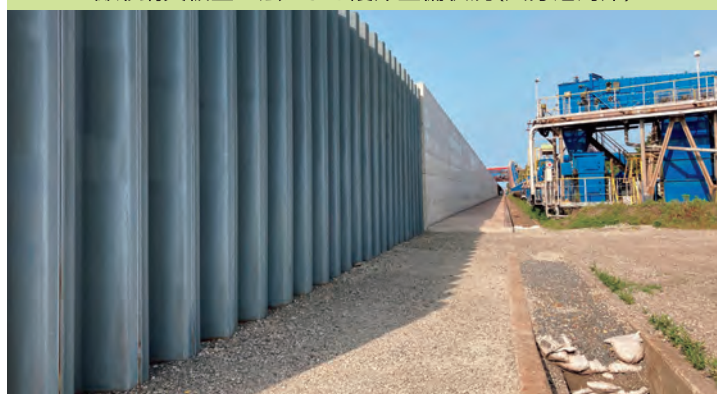
耐震強化岸壁と通常の岸壁の比較(仙台塩釜港)



津波・高潮対策等の推進

港湾海岸の背後地には、人口や物流・産業・市街地機能が高度に集積しており、津波及び高潮・高波による浸水被害を防止・軽減するため、護岸・陸間・水門といった海岸保全施設の整備を推進します。

楯形鋼矢板壁工法による護岸整備状況(大分港海岸)



整備区間と未整備区間の防護状況の比較(下関港海岸)



個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

2024年問題によるドライバー不足等により、今後フェリーやRORO船による海上輸送ニーズがさらに高まる見込みです。このため、安定的な物流を支える内航ROROターミナルの機能向上や、港湾物流のボトルネックの解消など、地域の基幹産業の競争力強化に向けた港湾整備を推進します。

ドライバー等の人手不足や労働規制に対応した内航ROROターミナルの整備(大分港)



港湾物流のボトルネック解消のためのふ頭間臨港道路の整備(鹿児島港)



九州の特徴と将来像

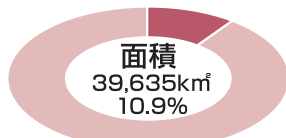
九州地方の現状

全国に占める、九州地方の人口、面積、域内総生産(名目GDP)、製造品出荷額は、1割程度です。

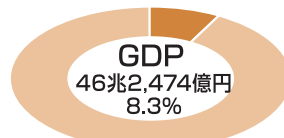
九州の恵まれた地理的環境を活かし、成長が期待される産業を今後発展させるためにも、人流・物流のネットワーク整備、すなわち社会資本整備が必要不可欠となっています。



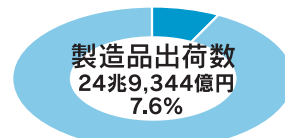
出典:令和5年1月 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)



出典:令和5年 全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)
※都県にまたがる境界未定地域は含まない



出典:令和2年度 県民経済計算(内閣府)

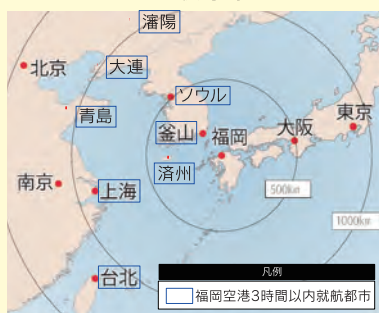


出典:2022年経済構造実態調査 製造業事業所調査(経済産業省)

九州の主な特徴

アジアの玄関口

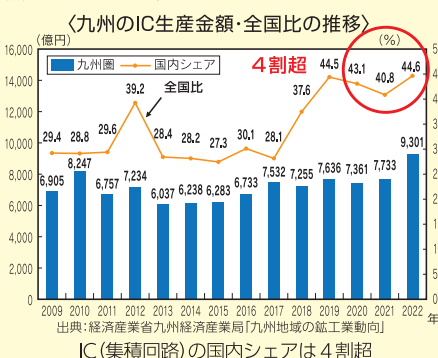
◆東アジアの概ね中心に位置している九州は古来より、アジア等の海外から人・物・情報を取り入れ、全国に伝えていくゲートウェイの役割を担ってきました。



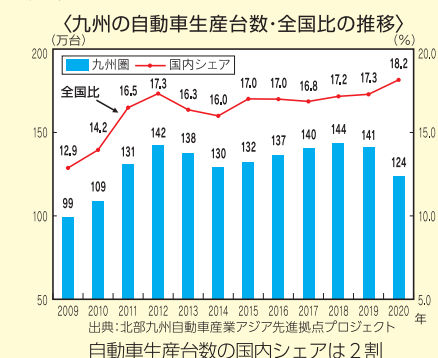
出典:「フォーラム福岡58号」福岡アジア都市研究所
地理的にアジアの玄関口に位置する

成長期待産業が集積

◆九州のIC生産金額は、近年で国内シェアを伸ばし、全国比は4割を超える高い水準を維持しており、新規拠点進出なども活発化しています。



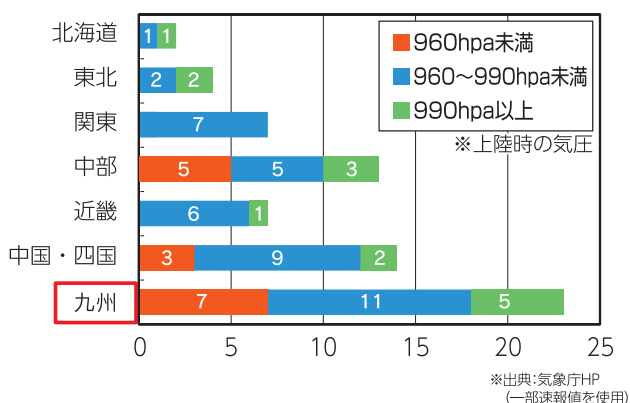
◆九州の自動車産業は完成車工場の立地に伴い、部品の製造・加工等を担う自動車関連企業の集積が北部九州を中心に進んでいます。



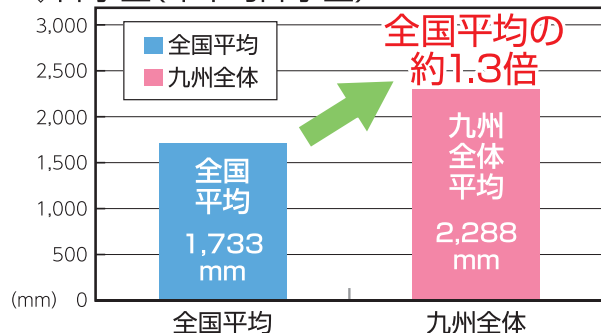
九州の多様な災害リスク〈台風・豪雨・火山噴火・地震〉

九州地方は、国内の他地域と比較して、台風の上陸回数が多く、火山活動が活発であるなど災害リスクが高くなっています。

◇地域別台風上陸回数(2001.1~2023.12)



◇降水量(年平均降水量)



※出典:令和4年度版日本の水資源の現況(1992~2021年の平均値)

◇活発な活動が続く活火山

九州地方は、全国で111ある活火山のうち、17の活火山を有しています。また、気象庁が発表している噴火警戒レベルが2以上の活火山を複数有しています。

■活発な火山活動(令和6年1月19日現在)

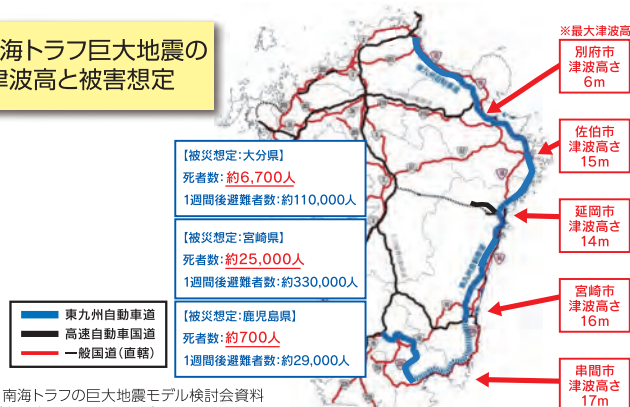
桜島	レベル3
口永良部島	レベル3
諏訪之瀬島	レベル2
薩摩硫黄島	レベル2
浅間山	レベル2

噴火警戒レベル2以上の全国5火山のうち九州に4火山

※参考 噴火警戒レベル
レベル5(避難)
レベル4(避難準備)
レベル3(入山規制)
レベル2(火口周辺規制)

出典:気象庁HP

◇南海トラフ巨大地震の津波高と被害想定



出典:南海トラフの巨大地震モデル検討会資料(内閣府H24.8.29-R1.6)

注)各県が公表した被害想定・最大津波高さとは異なる部分があります。

九州の将来像

九州圏広域地方計画（第二次）

日本の成長センター「ゲートウェイ九州」～新しい風を西から～

・広域地方計画は、国土形成計画法に基づき平成27年8月に閣議決定された「国土形成計画（全国計画）」を受け、各広域ブロックの自立的発展に向け、今後概ね10年間の地域のブランドデザインをとりまとめたものです。

九州圏の3つの将来像

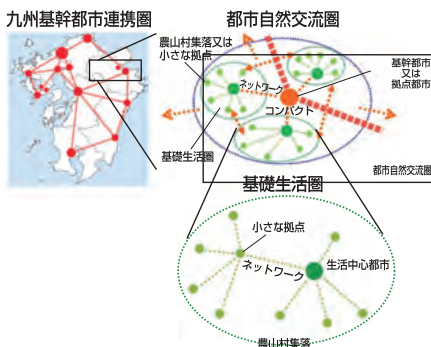
1. 日本の成長センター「ゲートウェイ九州」

- ・世界の成長センターであるアジア地域の成長力を引き込む日本の成長センター「ゲートウェイ九州」となって、日本の経済成長に貢献することを目指す。



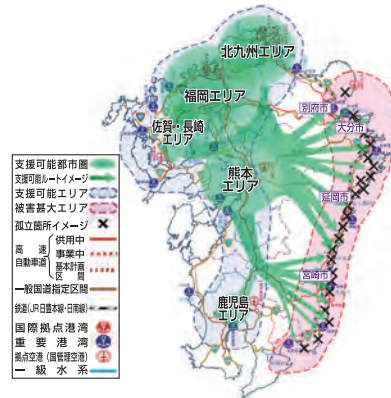
2. 三層の重層的な圏域構造からなる「元氣な九州圏」

- ・新技術等による戦略的な産業基盤強化、オール九州農林水産物の輸出拡大を目指す。



3. 巨大災害対策や環境調和を発展の原動力とする「美しく強い九州」

- ・地域の発展基盤として、巨大災害対策や環境の調和の推進を目指す。



将来像の実現に向けた戦略(プロジェクト)

- ・将来像の実現に向けて、重点的に取り組む5つの戦略とそれを支える12のプロジェクトを設定しています。

新たな九州圏広域地方計画（第三次）を策定中

アジアの成長センター「アイランド九州」

国土形成計画(全国計画)

- ・令和5年7月28日に第三次となる国土形成計画（全国計画）が閣議決定されました。

新たな国土の将来ビジョン

時代の重大な岐路に立つ国土

- ・地域の持続性、安全・安心を脅かすリスクの高まり
- ・コロナ禍を経た暮らし方・働き方の変化
- ・激動する世界の中での日本の立ち位置の変化

目指す国土の姿 「新時代に地域力をつなぐ国土」

- ・デジタルとリアル融合による活力ある国土づくり
- ・巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する安全・安心な国土づくり
- ・世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む個性豊かな国土づくり

国土構造の基本構想 「シームレスな拠点連結型国土」

《広域的な機能の分散と連結強化》 《持続可能な生活圏の再構築》

《国土の刷新に向けた重点テーマ》

- デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成
- 持続可能な産業への構造転換
- グリーン国土の創造
- 人口減少下の国土利用・管理

《横断的な重点テーマ》

- 国土基盤の高質化
- 地域を支える人材の確保・育成

分野別施策の基本的方向

- 地域の整備○産業○防災・減災、国土強靭化
- 国土資源及び海域の利用と保全
- 環境保全及び景観形成
- 文化・スポーツ及び観光
- 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラ

計画の効果的推進 広域地方計画の策定・推進

- 地理的空間情報等を活用したマネジメントサイクルと評価の実施
- 広域地方計画協議会を通じた広域地方計画の策定・推進

新たな九州圏広域地方計画(基本的な考え方)

- ・令和5年7月5日に新たな九州圏広域地方計画の策定に向けた「基本的な考え方」をとりまとめ公表しました。
- ・第三次の全国計画に基づき、新たな九州圏広域地方計画（第三次）の策定に向け検討中です。

【将来像】

アジア諸地域に最も近い地理的特徴を活かして、アジアの経済や産業、賑わいの中心となって成長をけん引し、国内だけでなく世界から憧れとされる地域となるため、「九州はひとつ」として自立的発展を目指すことを表して、将来像を「アジアの成長センター『アイランド九州』」とする。

目標1. 成長エンジン「アイランド九州」

国際競争力を高め、アジアの経済をけん引する成長センターとなり、多様な人々が集い賑わう国際交流の拠点「成長エンジン『アイランド九州』」を目指す。

目標2. 自立型広域連携「アイランド九州」

重層的な生活・経済圏域を基盤として、離島・半島・中山間地域等を含めデジタルとリアルによる多様なネットワークで連結することで、都市の利便性と地方の快適性が共生した、「住んでよし」「働いてよし」「育ててよし」が実感できる幸福度の高い「自立型広域連携『アイランド九州』」を目指す。

目標3. 強く美しい「アイランド九州」

地震や豪雨等、あらゆる大規模災害等に対し強靱な九州を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする「強く美しい『アイランド九州』」を目指す。



災害からの復旧・復興

緊急治水対策プロジェクト

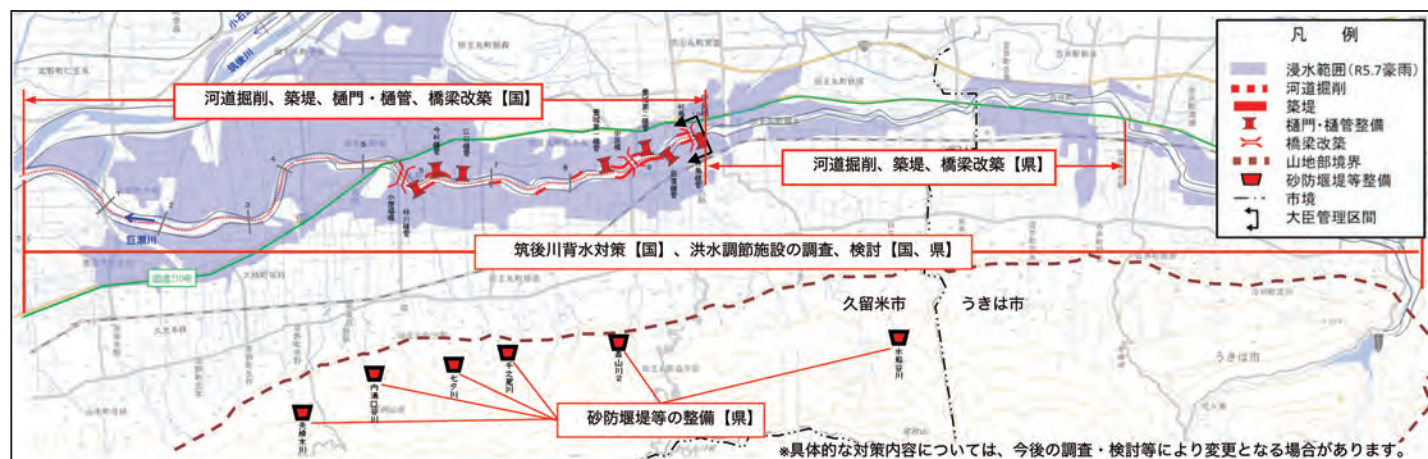
筑後川水系巨瀬川緊急治水対策プロジェクト（令和5年7月豪雨からの復旧・復興）

令和5年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、国・県・市等が連携し、河道掘削、築堤、樋門・樋管整備、橋梁改築、砂防堰堤整備等の取り組みを集中的に実施することにより、令和5年7月豪雨に対して、家屋など流域における浸水被害の軽減を図るとともに、土砂・流木災害を軽減し、強靱な地域づくりを目指します。

筑後川水系巨瀬川の被害状況（令和5年7月10日）



筑後川水系巨瀬川の整備状況



六角川水系緊急治水対策プロジェクト（令和元年8月及び令和3年8月豪雨からの復旧・復興）

令和元年8月及び令和3年8月の豪雨で甚大な被害が発生した六角川水系において、国、県、市町等が連携して治水対策に取り組みます。

河道掘削の施工状況



牛津川遊水地の施工状況



球磨川水系緊急治水対策プロジェクト（令和2年7月豪雨からの復旧・復興）

令和2年7月の豪雨で甚大な被害が発生した球磨川水系において、国、県、市町等がまちづくりとも連携して治水対策に取り組みます。

輪中堤・宅地かさ上げ事業：球磨村神瀬地区



河道掘削の施工状況(球磨村)(R5.6)



河道掘削の施工状況(人吉市)(R5.3)



令和2年7月豪雨からの復旧・復興

道路事業の取り組み

八代市から人吉市間の国道219号のほか県道等、流失した橋梁10橋を含む約100kmについて、国の権限代行により、災害復旧事業を進めています。令和5年2月に、西瀬橋の新橋架替が完了しました。また、その他の橋梁についても復旧工事を進めています。

西瀬橋架替完了（R5.2時点）



坂本橋（R6.2時点）



相良橋（R6.2時点）

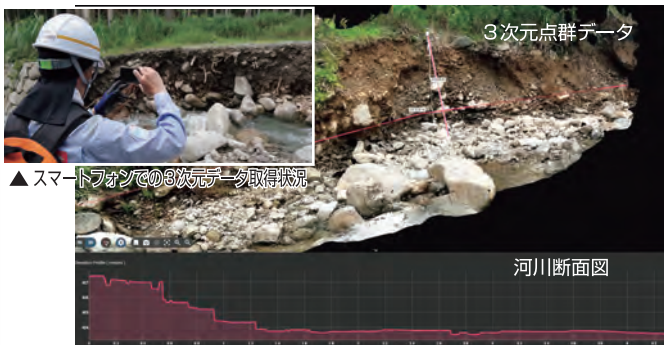


TEC-FORCEの取組み

緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）は、平成20年4月に創設され、大規模自然災害が発生し自治体職員だけでは対応が困難な場合に、いち早く被災地へ出向き、被災自治体を支援しています。

令和5年7月大雨への対応

河川被災状況調査の活動状況（福岡県久留米市）



▲デジタル技術を活用した調査（スマートフォンでの3次元測量）

令和6年能登半島地震への対応

道路被災状況調査の活動状況（石川県輪島市）



給水機能付き散水車による給水支援（石川県志賀町）

